

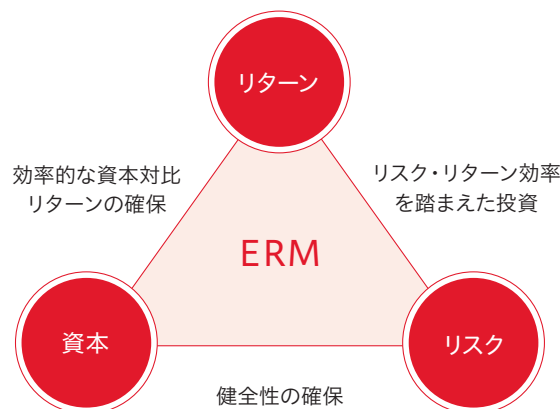
# ERM経営の推進

## ERMの考え方

「スミセイ中期経営計画2025」では、「ERM<sup>\*</sup>経営の推進」を、当社のサステナビリティ重要項目（マテリアリティ）の1つである「サステナビリティを支える経営体制」に対する取組項目の一つと位置付けています。

※Enterprise Risk Managementの略

具体的には、ERM経営（およびリスク管理）の推進に取り組み、リターン・リスク・資本についてより一体的な管理を進めることで、事業の持続可能性を確保していくとともに、お客さま（社員）への安定した配当還元を推進していきます。



## ERMの経営への活用

上記ERMの考え方に基づき、「資本を有効活用して、どのようなリスクをどの程度のリスク量まで取ってリターンを獲得するのか」という経営上のリスク選好（定性面・定量面）を明確化した「リスクアペタイト・ステートメント」を策定したうえで、「リスク選好と整合的な経営

計画の策定（Plan）→経営施策の執行（Do）→計画の進捗状況のモニタリング（Check）→必要に応じた計画等の見直し（Action）」という「PDCAサイクル」を通じて、ERMの更なる高度化を図っています。

### 経営のベースとなる普遍的なリスクに対する姿勢（長期的なリスク選好）

・住友生命グループは、主に、保険引受・資産運用においてリスクテイクを行い、リスクを適切にコントロールします。

### 中期経営計画期間（2023～2025）の環境に対応したリスク選好（中期的なリスク選好）

#### 【リスクアペタイト・ステートメント】

- ・保険販売によるリスクテイクにより安定的な収益確保と資本の充実を図り、資産運用や海外事業、他社との協業による価値創造等での新たなリスクテイクに資本を有効活用することで、グループ企業価値の持続的向上を図ります。
- ・市場環境悪化時等においても事業継続が可能となるリスクと資本のバランスを遵守しつつ、資本を有効活用し効率的に企業価値向上を図ります。

### リスク選好に基づく「スミセイ中期経営計画2025」を策定

#### 会社全体の経営計画

資本を有効活用するために、リスク・リターン等の検証を実施の上、資本配賦を決定・実行

スミセイライフデザイナー  
（営業職員）

金融機関等代理店  
・保険ショップ

資産運用

海外事業

- ERM経営の推進により各事業の持続可能性を確保
- 住友生命グループの企業価値の持続的向上を通じてお客さまへの安定した配当還元を推進